

# 令和2年度 医工連携研究会

## データ駆動型の医工連携

～ コロナ克服に向けた確かな歩み ～

### 開催報告

令和3年3月30日（火）オンラインにて、医工連携研究会を開催いたしました。ものづくり企業、製販企業、臨床機関、研究機関、行政・支援機関などから、100名強の方にご参加いただきました。お忙しいなかご参加いただき、ありがとうございました。

#### 医工連携研究会

4名の講師をお招きし、コロナ禍におけるデータ志向の重要性についてご講演いただきました。

#### 基調講演「医工連携におけるデータ駆動」

自治医科大学 学長 永井良三氏より、コロナ禍を乗り越えるには、「仮説駆動型の対策」に加え、市中の観測データを集めて対策を考える「データ駆動型の対策」の重要性についてご講演いただきました。

#### 実践講演「医療ニーズを製品化した実例」

第一医科株式会社 代表取締役社長 林正晃氏、マーケティング管理部 課長 稲垣太輔氏より、東京都医工連携HUB機構に寄せられたニーズをもとに開発した感染症対策に係る製品についてご講演いただきました。

#### 特別講演「ウイルスに対抗する歯科の重要性」

日本歯科大学 生命歯学部 教授 小林隆太郎氏より、口腔の視点から新型コロナウイルス感染症を考えることの重要性についてご講演いただきました。

#### ★ご参加いただいた皆様からのご意見・ご感想★

- ・ 質の高い講演を企画いただきありがとうございます。
- ・ 最新の科学技術情報に関心があり、今後も情報収集が目的となりますが、よろしく願いたします。

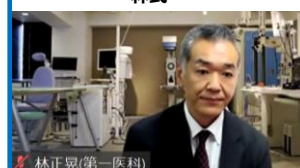
開会挨拶



永井氏



林氏



稲垣氏



小林氏



閉会挨拶

